

令和5年度 第2回 村上市図書館協議会議事録(概要)

- (1) 日 時 令和5年11月15日(水) 午前9時58分～午前11時42分
- (2) 場 所 教育情報センター 2階 会議室A・B
- (3) 出 席 8名(山口又一郎委員、板垣和伸委員、川村久美子委員、内山愛子委員、菅原比都弥委員、藤城真二委員、中島恵美子委員、渡辺一洋委員)
- (4) 欠 席 なし
- (5) 事務局 6名(遠藤友春教育長、平山祐子生涯学習課長、加藤渉課長補佐(中央図書館長)、佐藤俊係長、齋藤晴奈主任、川村甚一主任)

【会議次第】

1 開 会 (9:58)

(進行:佐藤係長。以下、「係長」という。)

2 あいさつ

(遠藤教育長。以下、「教育長」という。)

おはようございます。本日はご多用のなか、第2回村上市図書館協議会にご参集いただきありがとうございます。

今年の夏はあれだけ猛暑が続きましたが、近ごろは冷え込む毎日となりました。

先週、初めての試みとして村上市教育委員会と関川村教育委員会との情報交換会を持たせていただきました。

このなかで、子供の読書ばなれ、移動図書館の扱い、電子書籍の閲覧サービスの方向性について話題提供させていただきましたが、皆さん大変関心をお持ちで、やはり、図書館が果たす役割は重要であると感じた次第です。

本日は、令和5年度の事業の状況について、来年度の事業計画についてご協議いただきますが、図書館充実のためにご意見いただけますようお願いいたします。

本日はよろしく願いいたします。

(山口会長。以下、「会長」という。)

皆さんおはようございます。10月には夏があったほどでしたが、この頃は冬の到来が感じられるようになりました。

図書館事業も、コロナ禍が3年続いて、今年度はようやくコロナ禍が収束してきた年度であったと思いますが、また、この中でいろいろと変わ

ってきた部分もあろうかと思えます。

たとえば、デジタル化に対応したネットワークシステムの更新、貸出資料冊数を5冊から10冊へ変更され、現在もこれを継続されていることなど、また、館内の展示、広報紙「図書館通信」のレイアウト刷新など、図書館業務の随所に、工夫が見受けられるように感じます。

継続していくところ、改善するところ、今後もいろいろと見直しをしていくことが大切であると思えます。

本日は、令和5年度上半期の実績、そして令和6年度の計画についてご協議いただきますが、忌憚のないご意見をお願いいたします。

3 議事（以降、会長が進行。）

(1) 令和5年度 図書館活利用状況等（上半期）について

【資料1「令和5年度 図書館活利用状況等（上半期）」について事務局から説明】

会 長 最初に、重点事項の1「図書館ネットワークシステム更新による利便性の向上」、2「学校図書館支援の強化」についてご意見をいただきたいと思えます。

特に、2「学校図書館支援強化」については、たびたび協議会の中でもご意見をいただいておりますが、取り組みの状況を見ると、各学校訪問なども大変密に取り組まれているようです。ご意見はございますか。

藤城委員 図書館から学校に来ていただき、実際に現場を見てアドバイスいただき、今後も協議しながら継続して取り組んでいきたいと思えます。感謝しています。

板垣副会長（以下「副会長」という。）

学校では、特に蔵書の管理などが大変だと思えますが、このように図書館からサポートしていただけるのは、ありがたいことだと思えます。

移動図書館車は、今年度は学校へは訪問されていますか。

館 長 これまで、コロナ禍で学校の受入がなかなか難しいところがありましたが、今年度再開しています。

斎藤主任 今年度は、すでに10月にさんぼく小学校、11月に神納小学校の2校に訪問しています。また、12月には山辺里小学校を予定しています。

館 長 いずれも、学校訪問の際に希望があり、日程調整ができた学校へ訪問させていただきます。

この取り組みについては、移動図書館車の運行地区を学区に持っている学校がほとんどであり、この機会に、学校へ図書館利用者カードの申込書を全校生徒分送りし、申し込みいただいた子供さんのカードを作成して、移動図書館車訪問の際の貸し出しの際ご利用いただいております。

学校からも、読書離れの中で、図書館バスの利用体験や図書館カード作

成が、読書への関心を持つこと、本を読むきっかけになるものと期待していただいております。

おかげさまで、さんぽく小学校では全校児童125名のうち、約7割の皆さんに利用者カードを持っていただきました。また、神納小学校、山辺里小学校でも同様にカードをお持ちいただいております、今後、移動図書館車での利用につながっていくのではとも考えております。

合わせて、先日の合同教育委員会でも話題になりましたが、新入学児童へも利用者カード作成をお勧めし、図書館利用が進めばと考えております。

会 長 移動図書館車は子どもたちも楽しみにしているようです。

今後もこのようなよい活動は向上させながら、継続していただきたいと思っております。

内山委員 孫が神納小学校へ行っていますが、とても喜んで本を借りてきました。地域を巡回する移動図書館車でも子どもが喜ぶような企画をされていて、バスの来る日を楽しみに、心待ちにしているようです。

副 会 長 今後、学校の数を増やしていくなどの計画はありますか。

館 長 目標としては、来年度はできれば全校へ伺いたいと考えていますが、受け入れ側の学校の対応の可否、図書館としても人的な都合、訪問希望日が集中した場合などの対応など踏まえ、計画したいと思っております。

会 長 学校では本の修繕など、蔵書の管理に苦勞されているようですが、今後の課題として、具体的にはどのようなことを考えていますか。

館 長 蔵書の管理のなかで、蔵書点検、傷んだ本の修繕が課題となってきていますが、このために、図書館から職員を派遣するだけでは学校図書館の課題の根本的な解決とはならないと思っておりますので、学校に入られているボランティアさんとの連携を増やしていくことなどを提案しています。

本の修繕については、学校の司書さんから、基本的なやり方の研修会への参加希望もお聞きしておりますので、早速12月に予定しています、県立図書館職員の訪問研修を紹介し、ご案内しているところです。

また、来年度からは、各校の図書委員会へ図書館司書が訪問し、簡単な修繕の講習なども予定したいと思っております。

内山委員 県立図書館の訪問研修に、私たちのような図書館ボランティアも参加できるのでしょうか。

館 長 今回は、市町村図書館職員が対象の研修会ですので、研修を受けた私どもの職員が、皆さんにお伝えすることとなります。

川村委員 何年か前に、荒川地区で本の修繕の研修を受けさせていただきましたが、とてもよかったです。

学校図書館運営相談会については、学校の図書館担当の先生の情報交換の場として有意義であったと思っておりますが、なぜ減少、形骸化しつつあるのでしょうか。

教 育 長 学校図書館の充実には情報交換の機会も有意義だと思っておりますが、昨今、

学校現場ではタブレットの運用や、事務システムについてなど、他の研修も増え、残念ながら図書館関連の研修への参加も減りつつあります。

会 長 学校の現状も大変ですが、図書館の充実も重要なことですので、他にも調整をしながら、学校図書館運営相談会も続けていっていただきたいと思います。

館 長 学校現状も踏まえ、参加いただける方法も考えながら、今後も開催していきたいと思います。

会 長 次に、利用状況についてご質問はありますか。

川村委員 レファレンスとは、どのようなことでしょうか。

館 長 「〇〇について調べたいが、どのような資料、本があるか」などのお問い合わせのお手伝いをしています。

副 会 長 寄贈は、どのような資料がどのような方から寄贈されていますか。

館 長 Gakkenなどの出版社から定期的に受けるもの、官公庁等からの白書などの刊行物、自費出版資料、また、家庭内の蔵書整理に伴う郷土関連の資料などです。

菅原委員 家で整理、寄贈したいなどの申し出がありますが、お断りしているものもあるそうです。

館 長 郷土資料、貴重資料は受け入れています。小説などの一般書はお断りしているものが多くなっています。

ご家庭で不要になった本が、地域など図書館以外で活用できる場はないか、考えていきたいと思います。

会 長 次に、事業実施状況についてです。資料は見やすくまとめられているようですが、ご質問はありますか。

菅原委員 ブックスタート事業の実施状況はいかがですか。

館 長 ブックスタートの事業は生涯教育課として取り組んでいます。主管は中央図書館ではなく、社会教育部門で担当しており、図書館の事業には載っていません。

副 会 長 10月に教育情報センターのホールで健康をテーマに長寿大学の事業を開催した際、中央図書館で関連のある本のコーナーを設けていただきましたが、長寿大学受講生の方が興味を持って利用されていました。今後も連携して取り組んでいただければありがたいと思います。

また、今年のメディア・メッセはどのような内容でしょうか。

館 長 メディア・メッセは、教育情報センターにある機関が行うイベントの総称で、理科教育センターが科学の祭典を、図書館、教育情報センターが視聴覚ホール、プラネタリウムで催しを行うなどしています。

今年も科学実験や一日図書館員、読み聞かせ、プラネタリウムでのビデオ上映会などを予定しています。コロナ禍で、人数を制限するなど規模を縮小して開催していましたが、今年は通常の間で行う予定です。

会 長 令和5年度上半期の事業について協議してきましたが、ほかにご意見な

どはありませんか。ないようですので、報告のとおりご確認いただけますでしょうか。

委員 はい。

(2) 令和6年度 事業計画（案）について

【資料2「令和6年度 事業計画（案）」について事務局から説明】

- 会長 事業計画についても、記載の仕方を変えられ、非常に見やすく、分かりやすくされています。この計画についてご質問ご意見はありますか。
- 菅原委員 1. 家庭における読書活動推進、①乳幼児を迎える家庭に向けた読書活動の推進とはどのようなことでしょうか、幼児健診とありますが。
- 館長 乳幼児が親子で来られる場所で、読書推進活動を行いたいということです。
- 菅原委員 また、遊び場等で読み聞かせや絵本を置き、本に触れる機会をつくるとありますが、そこに読書コーナーのようなものは作れないのでしょうか。
- 館長 たとえば、市が屋内のあそび場として改修した旧神納東小学校は、体育館ということもあり、体を動かすことが主となっているようで、実際、本を置く場所がないようです。
- 川村委員 私もよく利用しますが、これからの活用を考える中で、本を置く部屋やスペースなども検討いただきたいと思います。
- 私たちも健診会場での読み聞かせなどをやりましたが、やはり、お母さんに読書の大切さなどを知ってもらうことがとても大切だと思っています。
- 「スマホに子守をさせないで」というパンフレットで、お母さん向けに、読み聞かせやお子さんへの寄り添いの仕方が大事ですよ、と呼びかける活動をしています。チラシ作りなど、図書館からも支援いただければと思います。
- 館長 貴重なご意見、ありがとうございます。
- チラシのほか、特に若いお母さん向けには、デジタル中心の啓発を行っていきたいと思います。最新の情報をお届けできればと思います。
- 副会長 自分自身でも試してみましたが、高齢者向けの活字本は確かに読みやすいですが、大きくて重いです。CDブックもわかりやすいですが、読むほうが早く、時間がかかります。文庫と併用して、読みながら聞くととても分かりやすかったです。
- 地域の茶の間に、寄贈資料で図書館が受け入れられない資料などの本を置くことはできないでしょうか。

また、大人の読書活動を活発にする点で、利用された方、読者の視点からのお勧め本の照会などはできないでしょうか。

館 長

たとえば、CDブックなど、利用された方でなければわからない良さ、など、利用の仕方などをご案内するなど、工夫したいと思います。

あわせて、読者の方からの感想などの掲示も、今後、やり方などを考え、利用者参加型の図書館づくりの観点からも、取り組んでいければと思います。

教 育 長

寄贈についてですが、今後電子書籍の導入が進んでくると、予算上からも、紙ベースの書籍購入が減ってこようかと思われませんが、ご家庭からの寄贈の受け入れ等も考えていかなければと思っています。

館 長

たとえば、ご家庭で不要となった本の利活用について、図書館を挟まないでも、地域の団体などに取りまとめていただき、必要な施設などへ届けられるような仕組みも考えられると思います。

図書館所蔵の、貸し出ししている資料を、あそび場や地域の茶の間に常時置いておくことは難しいと思いますので、廃棄予定などの本を除籍後にご利用いただけるのでは、と思います。

内山委員

図書館ボランティアとして学校などへ出向き、活動させてもらっていますが、新しいボランティアが増えてくれればと思っています。そのためにも、講習会や研修会などの機会を増やしていただきたいと思っています。

図書館での職場体験学習の中に絵本の読み聞かせとありますが、私たちのグループでも、地元の中学校へ絵本の読み聞かせの学習支援に伺いました。

子どもたちも、やり方を学び、やってみることで、改めて絵本の、読み聞かせの良さを実感してくれるようです。

川村委員

「図書館ボランティアとの連携」とありますが、私たちボランティアからも、図書館の皆さんからいろいろとご指導いただき、頼りにさせていただければありがたいです。特に選書や、工作など、子供向けのアドバイスをお願いしたいと思います。

会 長

図書館ボランティアの育成などについて、生涯学習課では何かお考えですか。

平山課長

決して図書館ボランティアだけではなく、他の分野でも、今後、若い人たちにどのように現在の活動を継承していくか、とても重要なことと思っています。生涯学習課や公民館、図書館だけの枠にとらわれず、どのように進めていけばいいのか、関係機関と連携して取り組んでいきたいと思っています。

館 長

最近、社会福祉協議会を通じ、高校生から読み聞かせボランティアについての問い合わせがあり、ボランティア養成のための研修を受けていただきたい旨ご案内しました。実際に読み聞かせがどのように行われているか、機会があれば見ていただきたいと思っています。

小中学校への訪問活動を行っていますが、高校へも図書館の情報を提供する中で、読み聞かせやボランティアについても案内できればと思います。

会 長 「令和6年度事業計画（案）」について、ご確認いただけますか。
委 員 はい。

(3) 「第2次村上市子ども読書活動推進計画の中間評価について」

【資料3「第2次村上市子ども読書活動推進計画の中間評価について」事務局から説明】

会 長 「第2次村上市子ども読書活動推進計画の中間評価について」ご質問、ご意見はありますか。

菅原委員 図書館における読書活動の推進で、電子図書館の進捗状況は。
館 長 昨年度から新潟県が主導し全市町村が参加し協議会を作り、導入、運営についての協議を行っています。今のところ新たな動きはなく、進捗は見通せませんが、新潟県と歩調を合わせ進めていきたいと思っています。

会 長 今後どのように推移していくのか、状況を見極めて進めていただきたいと思います。

副 会 長 中間評価の中で見直さなければならないところはありますか。
また、事業の見直し、または追加はありますか。

館 長 成果指標については計画策定時のものであり、いまの段階で変更はしません。あくまでも7年度の目標値の推移を確認したいということです。
具体的な内容については、現在この計画に沿ってさまざまな事業を進めていますので、生涯学習課だけでなく、市の他部門（他課）が進めている部門もあり、今後、連絡調整しながら進めていくこととなります。

川村委員 各地区図書館についても振興をお願いしたい。また、学校の司書配置についても増員いただきたいと思います。

館 長 図書館と公民館図書室の違いはありますが、どのように充実させていけるかは、教育委員会全体で考えなければならないと思います。
また学校の司書の配置については難しいところがあると思いますが、私ども図書館からは、どのような支援ができるか、現在、配達方法などについて学校教育課とも検討、協議しています。

副 会 長 地区の公民館の図書室には、図書館ボランティアにいていただくようなことも考えられるのではないのでしょうか。誰か人がいれば利用される方も違ってくるのではと思います。

会 長 地区館図書室のことについては、どのように行っているのでしょうか。
館 長 公民館職員のほか、中央図書館の職員が週に1回は伺って書架や資料の点検などを行っています。展示や貸出ほかの業務や対応について職員の方と協議、改善しています。また、業務中のトラブルは、すぐに中央

図書館へ連絡いただき、対応しています。

現在、地区図書室の運用マニュアルの作成を進めており、今後、より円滑な運営ができるよう努めていきたいと思っています。

教育長 学校司書については、今年度までに市内小学校、各校を一巡し、来年度からまた元に戻ることとなります。これまで同様、本務校と兼務校を考えています。

会長 「第2次村上市子ども読書活動推進計画の中間評価について」、自己評価という形になっていますが、この評価にご異議なければ、協議会としての評価としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

委員 はい。

会長 ご意義ないようですので、この評価をもって協議会の評価といたします。以上をもちまして協議を終わります。

6 閉会 (閉会挨拶)

副会長 ご審議ありがとうございました。

今回の会議では、配付いただいた資料がより見やすく、わかりやすく、良かったと思います。委員の皆様には、積極的にご発言いただき、いい話し合いができたと思います。

また、図書館の工夫や改善も感じられました。

「図書館の日本文化史」という本の中で、徳川家康が作った幕府の図書館について書かれていましたが、この中に、奉行（職員）、分館、納本などの制度が作られていたようで、現在の図書館に通ずるものとして、興味深く感じました。

委員の皆様には、今後のご意見やアドバイスを賜りたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

本日は大変ご苦勞様でした。

(閉会 11:42)

閉会后、中央図書館内へ移動し、更新した「図書館ネットワークシステム」を視察。